

7 サムエルの おさない じき



1サムエル 3:19 サムエルは成長した。主は彼とともに
おられ、彼のこばを一つも地に落とされなかった。

1. サムエルは親の祈りの中にいたRemnantでした

- 1) ハンナが祈りの答えを通して生んだ息子です (Iサムエル1:1~11)
- 2) ハンナは答えによって生んだ息子サムエルを神殿にささげるときも祈りました (Iサムエル2:1~10)

2. 若い時期にすでにひとり立ちに成功しました

- 1) サムエルは、契約の箱がある神殿で成長しました (Iサムエル3:1~3)
- 2) 彼は神様の御声を聞きました (Iサムエル3:4~18)
- 3) サムエルが成長したとき、主がいつもともにおられて、彼のこばは一つも地に落とされませんでした (Iサムエル3:19)

3. サムエルが成長した背景があります

- 1) 家庭には不和がありました (Iサムエル1:1~9)
- 2) 教会では神様のみこばは、まれにしかありませんでした (Iサムエル3:1~2)
- 3) しかし、神様のみこばが聞こえて、タラント、ミッション、天命を発見しました (Iサムエル3:3~18)



✓ サムエル記第一の背景を知ろう



サムエル記第一は、祭司サムエルの名前を取ってつけたものです。サムエル記第一には、イスラエルの最後の士師であるサムエルと、最初の王サウルと、神様が立てられた王ダビデについての話が含まれています。初代の王だったサウルは、神様のみこころに従わない王でした。神様は、結局、サウル王の代わりに契約を持ったダビデを王として立てられました。

神様は、サムエル記第一を通して、神様のみこころに従順にして進むとき、祝福の道に導くと言われています。そして、今でも神様のみこころと摂理は、契約を持った子孫を通して伝えられているのです。



✓ 聖書を黙想しよう

サムエル記第一は、士師時代から王政時代へかわる重要な部分です。このときサムエルは、イスラエルの最後の士師で、祭司でした。サムエルのお母さんであるハンナは、子どもを産むことができなくて、エルカナのもうひとりの妻だったペニンナにばかにされました。ばかにされたハンナは、神様への切実な祈りを通して、サムエルを産むようになりました。サムエルはハンナの祈りのとおり、ナジル人*として生まれて、祭司エリに指導を受けながら、神殿で育ちました。サムエルはエリ祭司の後に続いて、祭司の仕事をはたしました。神様がサムエルを通してどのようなことを行われたのか、1サムエル3章1節から19節を黙想してみましょう。

* ナジル人: 人と区別された者で、神様にささげられた人。神様のみこころのために生きる人。



2 サムエルの しどうしゃの じき



1 サムエル 16:1~13 サムエルは油の角を取り、兄弟たちの真ん中で彼に油をそそいだ。主の霊がその日以来、ダビデの上に激しく下った。サムエルは立ち上がってラマへ帰った。(13)

1. サムエルはミツパ運動を起こしました(Iサムエル7:1~17)

- 1) Remnant運動です
- 2) R U I C 運動です
- 3) 悔い改めの運動です

2. サムエルは霊的な力を持ちました(Iサムエル7:10)

3. サムエルは神様が望まれる一番大きな働きをしました

- 1) 神様が備えられた働き人であるダビデに油を注ぎました(Iサムエル16:1~13)
- 2) 聖霊に満たされたダビデが立琴を手にとってひいたとき、サウルについていたわざわいの霊が離れました(Iサムエル16:23)
- 3) サムエルはダビデに契約の箱の奥義を伝えました。
ダビデは契約の箱のために神殿を準備しました



✓ 聖書クイズ

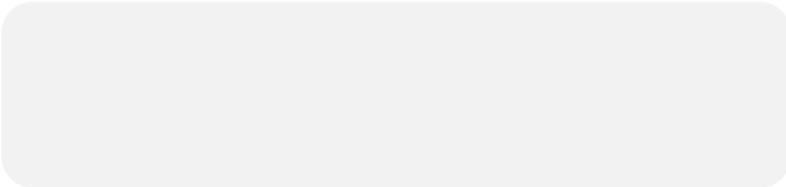
01 神様に切なる思いで祈ってサムエルを産んだ人はだれですか
(I サムエル 1:10~11, 20)

- ① ハンナ
- ② エルカナ
- ③ ゴリヤテ
- ④ ダビデ

02 サムエルが最初に主の御声を聞いた場所はどこですか
(I サムエル 3:3~4)

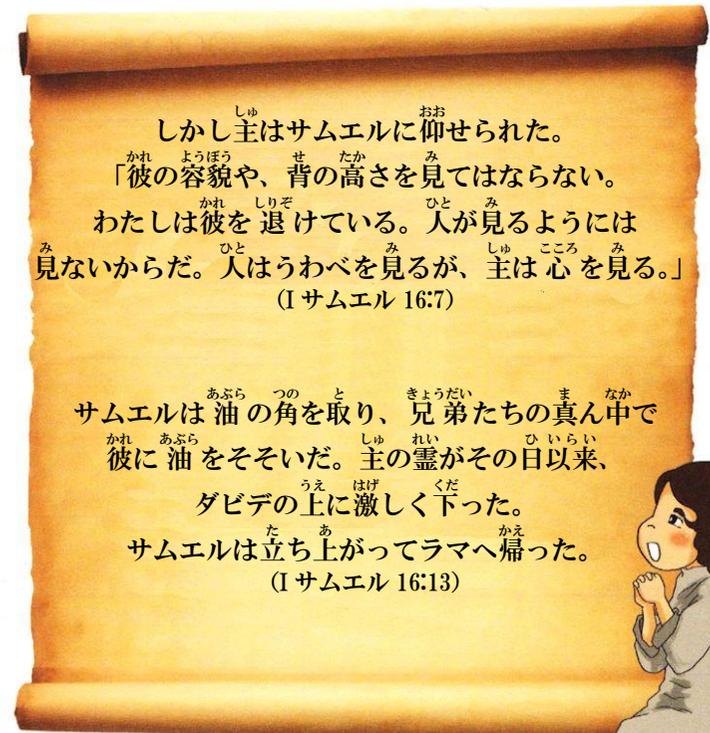
- ① エフライムの山地ラマタイム・ツォフィム
- ② 神様の契約の箱がある主の宮の中
- ③ 毎年自分の町で

03 サムエルが最初に油を注いだ王はだれですか (I サムエル 10:1)



✓ 聖書を覚えよう

神様は契約を持っていたダビデを王として立てられました。次の聖句を書いて、声を出して呼んで、ダビデのように、神様のみこころにしがたって生きることができるように、黙想して祈りましょう。



3 ダビデの おさない じき



1. ダビデは羊飼いの時期を靈的準備の最高の時間にしました

- 1) 正しい心と英知の手で羊飼いの仕事をしました (詩78:70~72)
- 2) 詩篇を記録しました
- 3) 彼が賛美をするときにわざわいの靈が離れるほどでした (Iサムエル16:23)

2. ダビデは羊飼いの時期を通して、最高の技能(知識)を備える時間にしました (Iサムエル17:17~18)

- 1) 最高の羊飼いになりました
- 2) 最高の祈りの規律を備えるようになりました
- 3) 最高の賛美を作って歌いました

3. ダビデは時代の最も大きな危機を解決しました(Iサムエル17:1~47)

- 1) 国、家庭、教会を生かしました
- 2) 神様の生きておられることと、その方の力をあかししました (伝道)
- 3) 全世界に彼の働きがうわさになって広がりました(宣教)

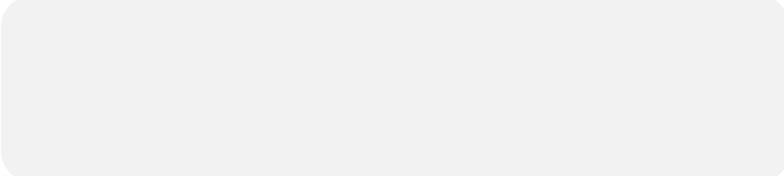




聖書箇所をさがして書こう

01

神様はサムエルにサウル王の代わりに新しい王を立てなさいと言われました。サムエルは、神様のみこころに従って、だれに油を注いだのか、聖書をさがしてみましよう。(1サムエル 16:13)



02

ひとりである時間に信仰の告白をささげたダビデのように詩篇23篇の聖書からさがして書いて、ダビデに与えられた新しい力をくださいと黙想しましょう。

1 節

2 節

3 節

4 節

5 節

6 節



聖書を覚えよう

1サムエル 17:40~45 のみことばを読んで、() にみことばをみつけて書きましよう

自分の(①)を手に取り、川から五つのなめらかな(②)を選んできて、それを羊飼いの使う袋、投石袋に入れ、(③)を手にして、あのペリシテ人に近づいた。そのペリシテ人も盾持ちを先に立て、ダビデのほうにじりじりと進んで来た。ペリシテ人はあたりを見おろして、ダビデに目を留めたとき、彼をさげすんだ。ダビデが若くて、紅顔の美少年だったからである。ペリシテ人はダビデに言った。「おれは犬なのか。杖を持って向かって来るが。」ペリシテ人は自分の神々によってダビデをのろった。ペリシテ人はダビデに言った。「さあ、来い。おまえの肉を空の鳥や野の獣にくれてやろう。」ダビデはペリシテ人に言った。「おまえは、(④)と、(⑤)と、(⑥)を持って、私に向かって来るが、私は、おまえがなぶったイスラエルの戦陣の神、方筆の(⑦)によって、おまえに立ち向かうのだ。(1サムエル 17:40~45)

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

4 ダビデの せいじんの じき



I サムエル 18:6~8 ダビデがあひのペリシテ人を打って帰って来たとき、みなが戻ったが、女たちはイスラエルのすべての町々から出て来て、タンバリン、喜びの歌、三弦の琴をもって、歌い、喜び踊りながら、サウル王を迎えた。女たちは、笑いながら、くり返してこう歌った。「サウルは千を打ち、ダビデは万を打った。」サウルは、このことばを聞いて、非常に怒り、不満に思ってしまった。「ダビデには万を当てる、私には千を当てる。彼にないのは王位だけだ。」

1. ダビデは苦難を準備する機会にしました

- 1) ミカルの助けによって刺客から救い出されました (I サムエル19:8~17)
- 2) サウルを避けるためにノブの地に身を避けました (I サムエル21:1~9)
- 3) 再びガテ地域に逃げました (I サムエル21:10~15)
- 4) アドラムのほら穴に隠れました (I サムエル22:1~2)
- 5) モアブのミツパに移動しました (I サムエル22:3~4)
- 6) ユダの地ハレテの森へ行きました (I サムエル22:5)
- 7) ケイラをペリシテ人から救いました。しかしケイラの民が裏切ることを知ってからは、また逃亡者になりました (I サムエル23:1~5)
- 8) マオンの荒野に移動しました (I サムエル23:24~28)
- 9) エン・ゲディの荒野でサウル王と対面しました (I サムエル24:1~22)
- 10) サムエルを葬って、パランの荒野に下って行きました (I サムエル25:1)
- 11) ユダのカルメルでアビガイルに会いました (I サムエル25:2~44)
- 12) ジフの荒野でまたサウル王を助けてあげました (I サムエル26:1~25)
- 13) ペリシテのガテの王、アキシュに逃げました (I サムエル27:1~12)

2. 羊飼いの時期に育てた霊的な力が勝利の理由でした(詩78:70~72)

3. ダビデが勝つことができた奥義がありました

- 1) わざわいの霊が離れ去るほど神様をほめたたえました (I サムエル16:23)
- 2) サウル王は霊媒をする女を訪ねていくほど、暗やみに縛られていました。そのために失敗しました (I サムエル28:3~14)

✓ せいしょ あんしょう
聖書を暗唱しよう

おおくのくなんなか かみさま けいかく ま で い
多くの苦難の中で、神様の計画を待って出て行ったダビデは、さんびいの
とお かみさま かみさま
を通して神様がくださる大きな力を受けました。ダビデが神様にささげた祈りを
もくそう かみさま あたら ちから ちえ
黙想しながら、神様に新しい力と知恵をくださいと祈りましょう。

しゅ
主はまた、しもべダビデを選び、羊のおりから
かれ め ちち の め ひつじ ばん かれ
彼を召し、乳を飲ませる雌羊の番から彼を
つ きて みたみ じぶん
連れて来て、御民ヤコブとご自分のもの
であるイスラエルをほく
牧するようにされた。
かれ ただ ころ かれ ほく えいち
彼は、正しい心で彼らを牧し、英知の
て かれ みちび
手で彼らを導いた。
しへん
(詩篇78:70~72)



✓ せいしょ よ
聖書を読もう

I サムエル 18:6~8 のみことばを読んで、() にみことばをみつけて
か
書きましょう

ダビデがあのか (①) をうって帰って来たとき、
みなが戻ったが、女たちはイスラエルのすべての町々から出て来て、
タンバリン、喜びの歌、三弦の琴をもって、歌い、喜び踊りながら、
サウル王を迎えた。女たちは、笑いながら、くり返してこう歌った。
「サウルは千を打ち、ダビデは (②)」サウルは、
このことばを聞いて、非常に怒り、不満に思ってしまった。
「ダビデには方を当て、私には千を当てた。彼にないのは王位だけだ。」

①

②